

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

市町村職員向け木製品加工に係る勉強会の実施

令和7年7月17日(木)

北部農林水産振興センター森林整備保全課では、令和5年度から、市町村有林を活用した地域材利用の推進を目的として「地域材利用促進モデル事業」を実施しており、今帰仁村をモデル地として「収穫伐採～製材～乾燥～木製品製作～村営施設への納品」までの一連の工程を実施し、そこで得られた知識、技術を市町村へ普及する取り組みを行っている。昨年度までに、収穫・製材・乾燥の各工程をテーマに市町村林務担当者向けに勉強会を開催しており、令和7年7月17日に本事業の最終工程となる「木製品製作～納品」をテーマに加工勉強会を開催したところ、北部管内の5市町村及び林業関係者から計18名の参加があった。

本勉強会は納品先の今帰仁小学校で開催し、村有林から収穫した13本のクスノキ大径木から本棚・カウンター等の製品になるまでの全体の工程を説明した後、加工の流れについて実際に完成した製品を見学しながら説明した。製作した木工業者から事前に聞いた話では、加工時は捻りや反りが生じた板材の扱いに苦労したとのことだったが、木工業者の技術や工夫により、木目の美しさが際立つ美しい木製品に仕上がった。

本勉強会では、加工の流れだけでなく、木工職人の技術により木の素材を最大限に活かした美しく機能的な木製品が出来上がることを市町村担当者が認知したことから、これまで以上に地域材利用についてイメージがしやすくなったと思われる。

今後も沖縄の木を身近に感じて活用してもらえよう、市町村や林業関係者へのサポートを続け、地域材・県産材利用の推進を図っていく。



加工勉強会の様子



クスノキで製作した図書室カウンター及び本棚

